



# 2022年度 就労型課題解決インターンプログラム

市内外の若者の視点や発想を活かした北部地域の事業者の課題解決及び魅力化施策を推進し、持続可能なまちづくりに取り組む。

## 取り組みのねらい

○学生が、区内での生活及び就労体験や実地調査を通じて得た気づきや発見をもとに、道の駅の来客を区内事業者や個店へ波及させる新たな仕組み「周遊促進プラン」を提案及び実践(試行)。⇒個店等の魅力向上及び収益増に繋げ、地域の賑わいを創出し、持続可能なまちづくりを展開。

## 施策の概要 (イメージ)

学生は、1カ月間厚田区内で生活しながら、就労体験や実地調査を通して、個店や事業者の活性化のための周遊促進プランを提案及び実践(試行)する。



インターン(約1ヶ月間)

1. 学生インターンの若者らしい発想力により、地域が抱える課題の1つである「道の駅を入口とした周遊促進」プランの提案及び実践(試行)をします。個店や地域資源を繋ぐことで、道の駅の来客を地域に波及させる仕組みを作り、個店の魅力向上と収益増及び地域の賑わいを創出します。
2. 本インターンプログラムは、地域での就労体験、実地調査、生活を通して、関係人口を創出し、夏期の人手不足解消にも繋がります。
3. 行動力溢れる若者と交流を持つことで、事業者及び地域が今まで気づけなかった魅力を再発見し、主体的に取り組む気運を醸成します。

### 【プロジェクトの流れ】

#### <事前準備>

- ①学生への公募、大学との調整
- ②厚田区の参加事業者、滞在拠点の調整

#### <インターン生>

- ①厚田区に滞在 ⇒ 地域の魅力に触れ、関係人口創出
- ②実地調査 ⇒ 観光客や地域及び個店などの実態把握
- ③地域おこし協力隊との連携 ⇒ 学生と地域の交流・活動を促進
- ④就労体験 ⇒ 繁忙期の人手不足解消
- ⑤個店の情報発信 ⇒ 個店の魅力向上により周遊促進
- ⑥道の駅を入口とした周遊促進プランの提案及び実践(試行) ⇒ 個店の収益増及び地域の賑わいを創出



厚田区内事業者  
(EX.飲食店、民宿、道の駅、  
キャンプ場、海浜プール、  
朝市など)



厚田区・浜益区の  
20~29歳の割合は、  
両地域の人口に対  
し、平均4.2%です。  
(R3.10.1現在)

#### <参考: 想定連携大学>

道内: 藤女子大学

道外: 立教大学、大正大学、明治大学、お茶の水大学、多摩大学、静岡大学、弘前大学、同志社女子大学、桃山学院大学、和歌山大学